

2020年8月5日



令和2年度 第2回 越谷市下水道事業運営審議会

目次

1. 第1回審議会質問事項への回答
2. 老朽化対策と地震対策
3. 組織の変遷
4. 下水道経営の現状分析
5. 将来の収支シミュレーション
6. 収支ギャップ改善の取り組み
7. 総括



越谷市役所 建設部 下水道経営課



1. 第1回審議会質問事項に対する回答 埼玉県と越谷市の関係

越谷市の下水道は、埼玉県の管理する中川流域下水道に接続しており、三郷市にある終末処理場で汚水が処理され、中川へ放流されています。

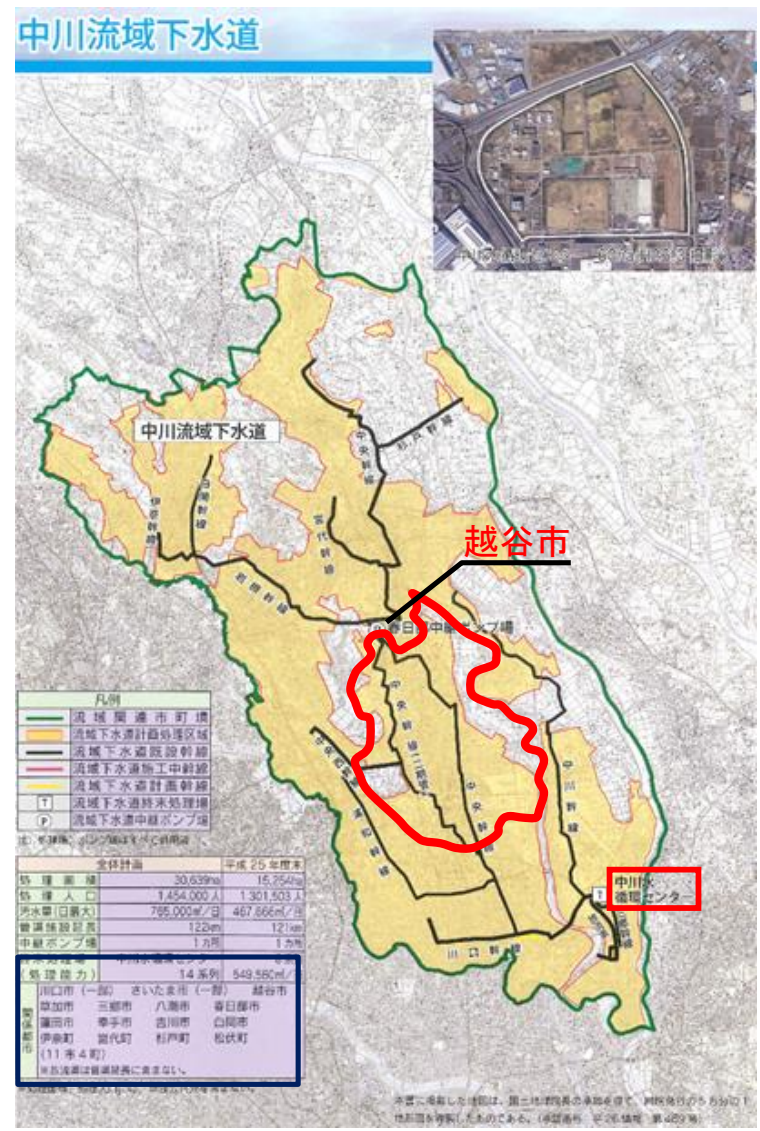
【埼玉県の役割】

各市町から排出される汚水を処理場へ送るための大規模な下水管きょ・ポンプ場・処理場を建設し、管理しています。

【越谷市の役割】

家庭や工場から排出される汚水を集め、埼玉県が建設する大規模な下水管きょに接続するための下水管きょやポンプ場を建設し、管理しています。

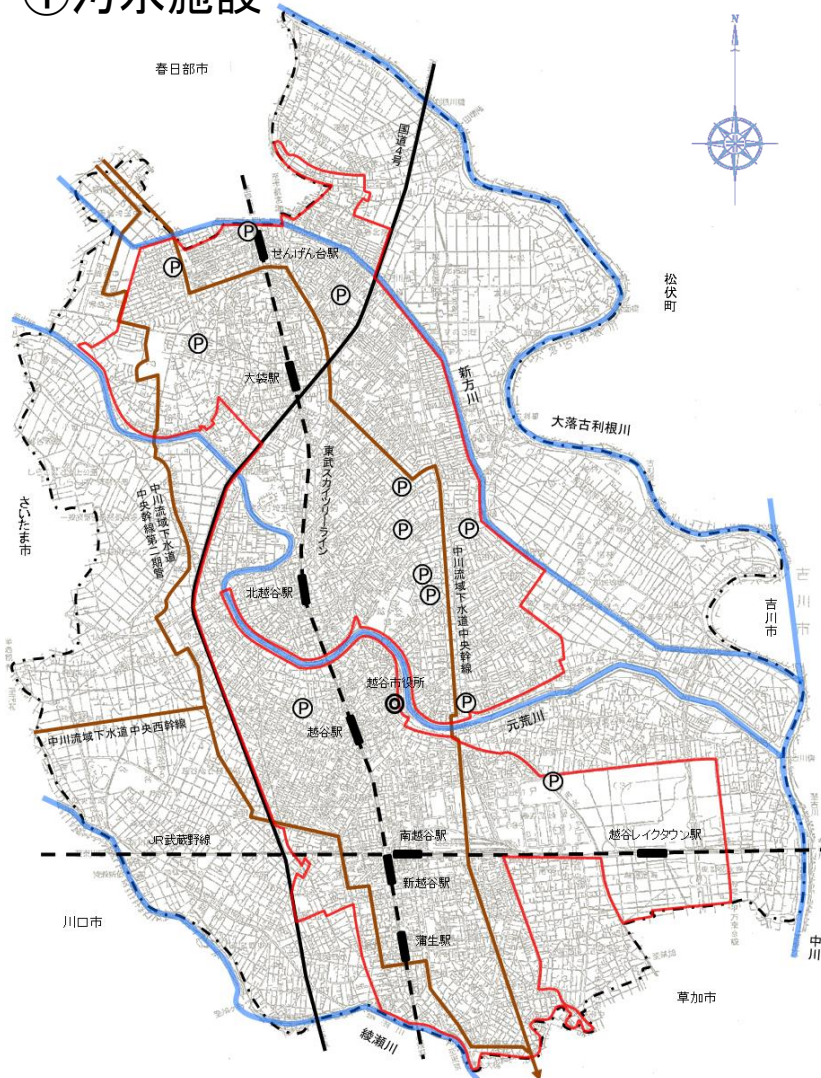
中川流域下水道に関連する市町は、越谷市、他14市町となっています。



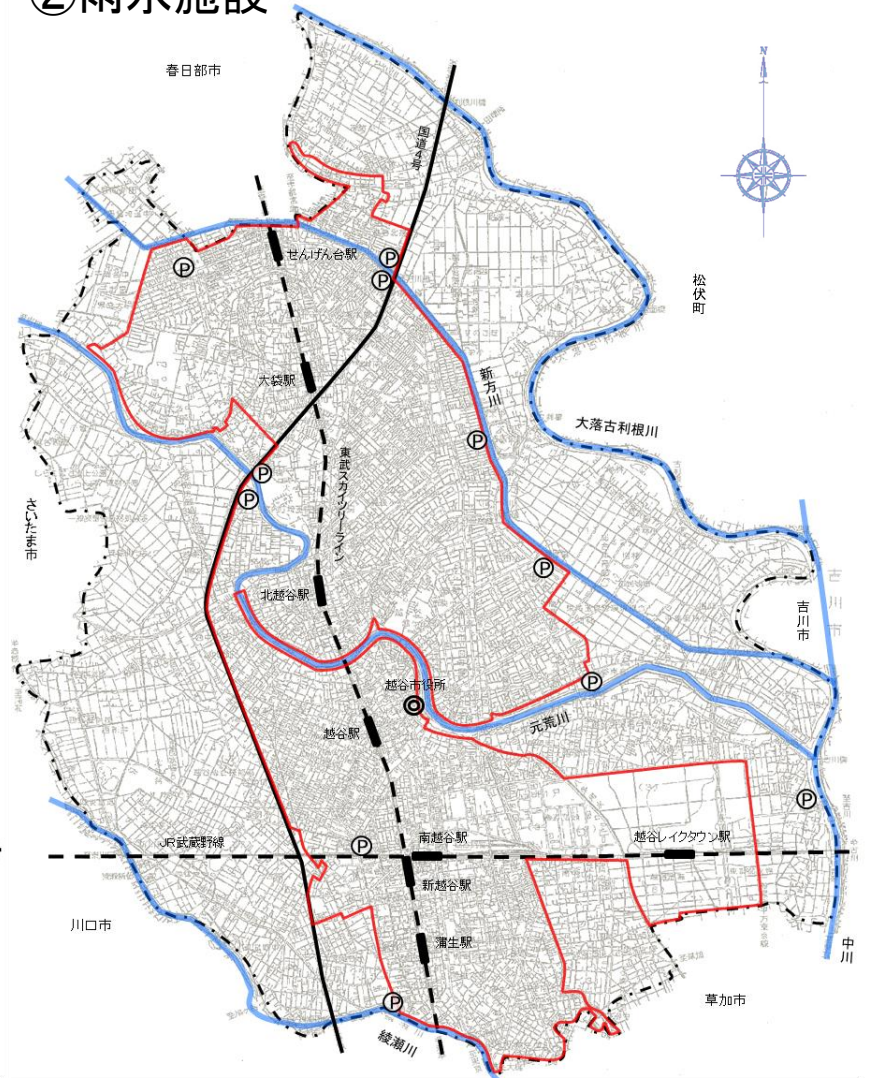


越谷市の下水道の施設

① 汚水施設

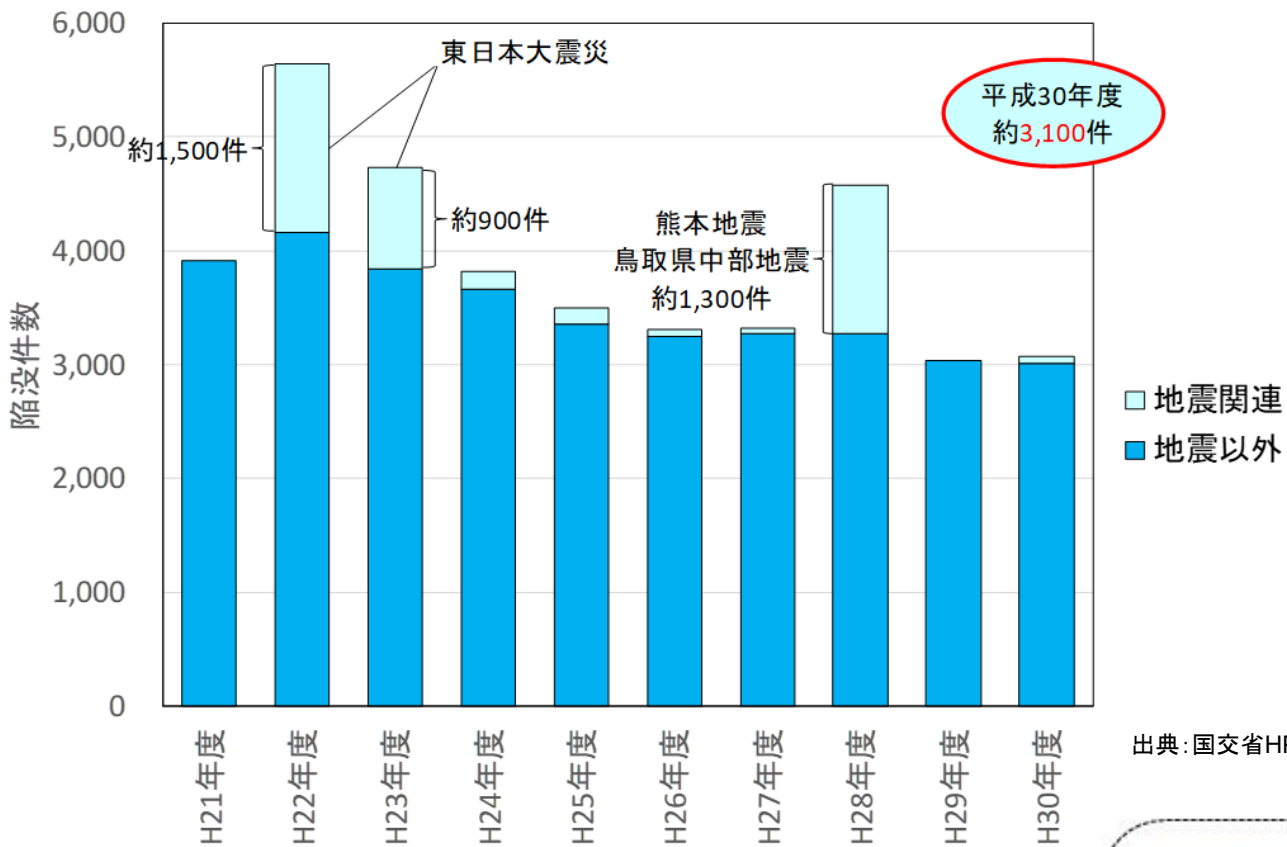


② 雨水施設



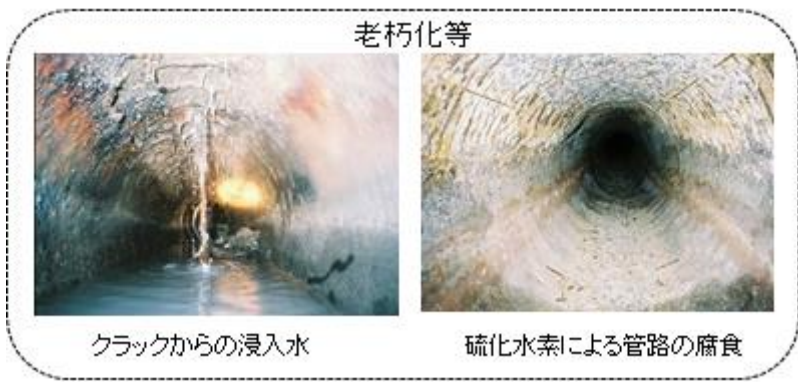


2. 老朽化対策と地震対策（ストックマネジメント計画）①



出典：国交省HP

■ 管路施設に起因した道路陥没件数の推移



老朽化等

クラックからの浸入水

硫化水素による管路の腐食



2. 老朽化対策と地震対策（ストックマネジメント計画）②

従来の設備更新の考え方

- ・ 耐用年数で更新する。（法定耐用年数50年）
→試算：49億円/年（40年間で管渠1,800億円、ポンプ場140億円）

長寿命化計画（H23～）

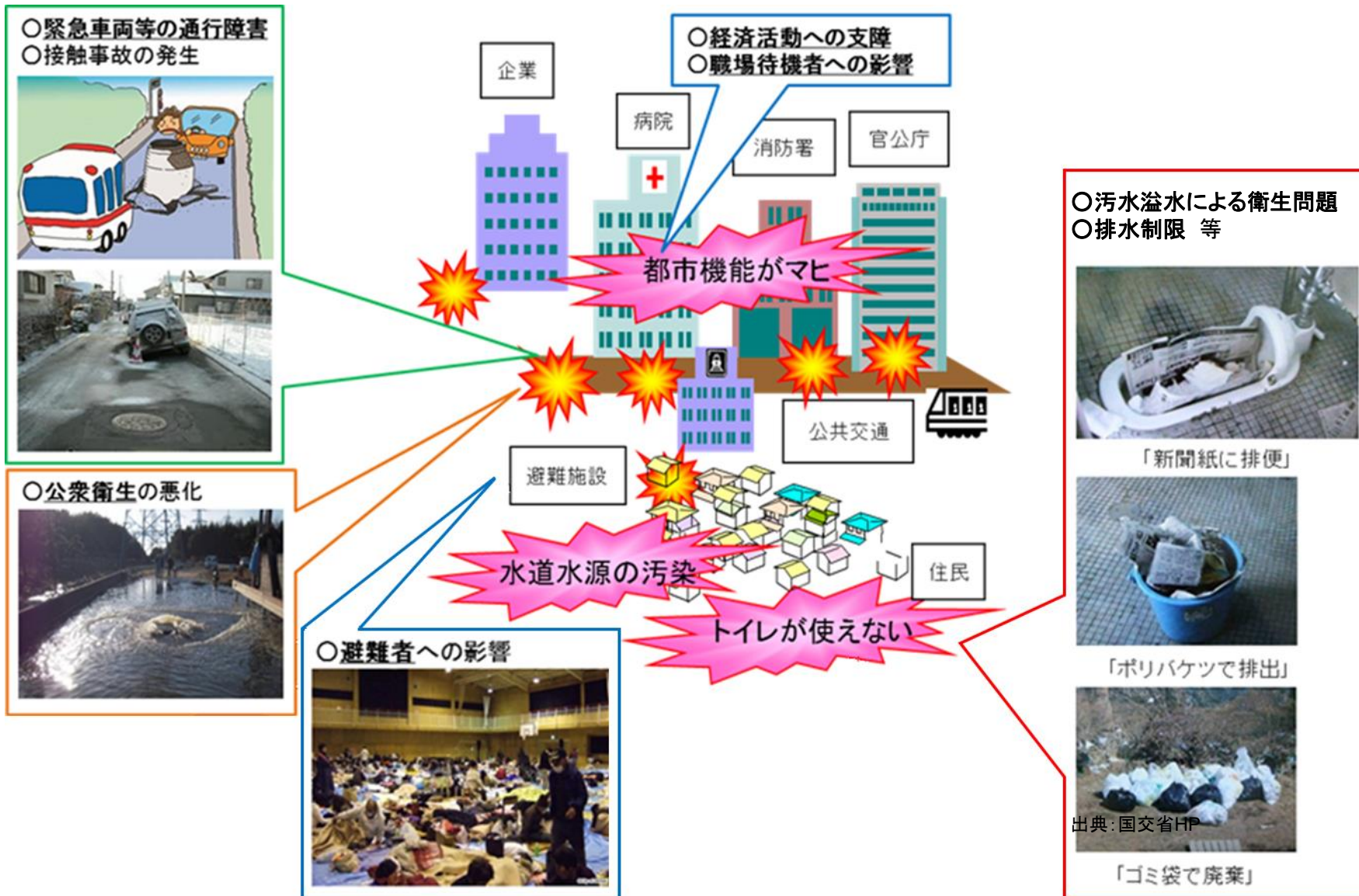
- ・ 施設ごと、あるいは一定区域ごとに点検調査を行い、健全性を確保できない箇所について、状況に応じた補修や更新を行うことで施設全体として長く使えるようにする。
→実績：2.9億円/年（H26～H30平均）

ストックマネジメント計画（H30～）

- ・ 全ての施設を対象に、リスク評価に基づく点検調査の方針を策定。優先順位を踏まえた維持更新を進めることにより、一定の健全性を維持する。
→計画： 9億円/年（R3～）
 11億円/年（R6～）
 13億円/年（R11～）



2. 老朽化対策と地震対策（下水道総合地震対策計画）①





2. 老朽化対策と地震対策（下水道総合地震対策計画）②

【管渠・マンホール】

H25「越谷市下水道総合地震対策計画」を策定

- 目的 ① 災害時における重要な路線の排水機能を維持
② " 緊急車両などの交通機能を確保

・ マンホールの浮上防止や継ぎ手の耐震化 6千万円／年

【ポンプ場】 ※従来は長寿命対策と一体で実施

H30「越谷市下水道総合地震対策計画」に位置付け

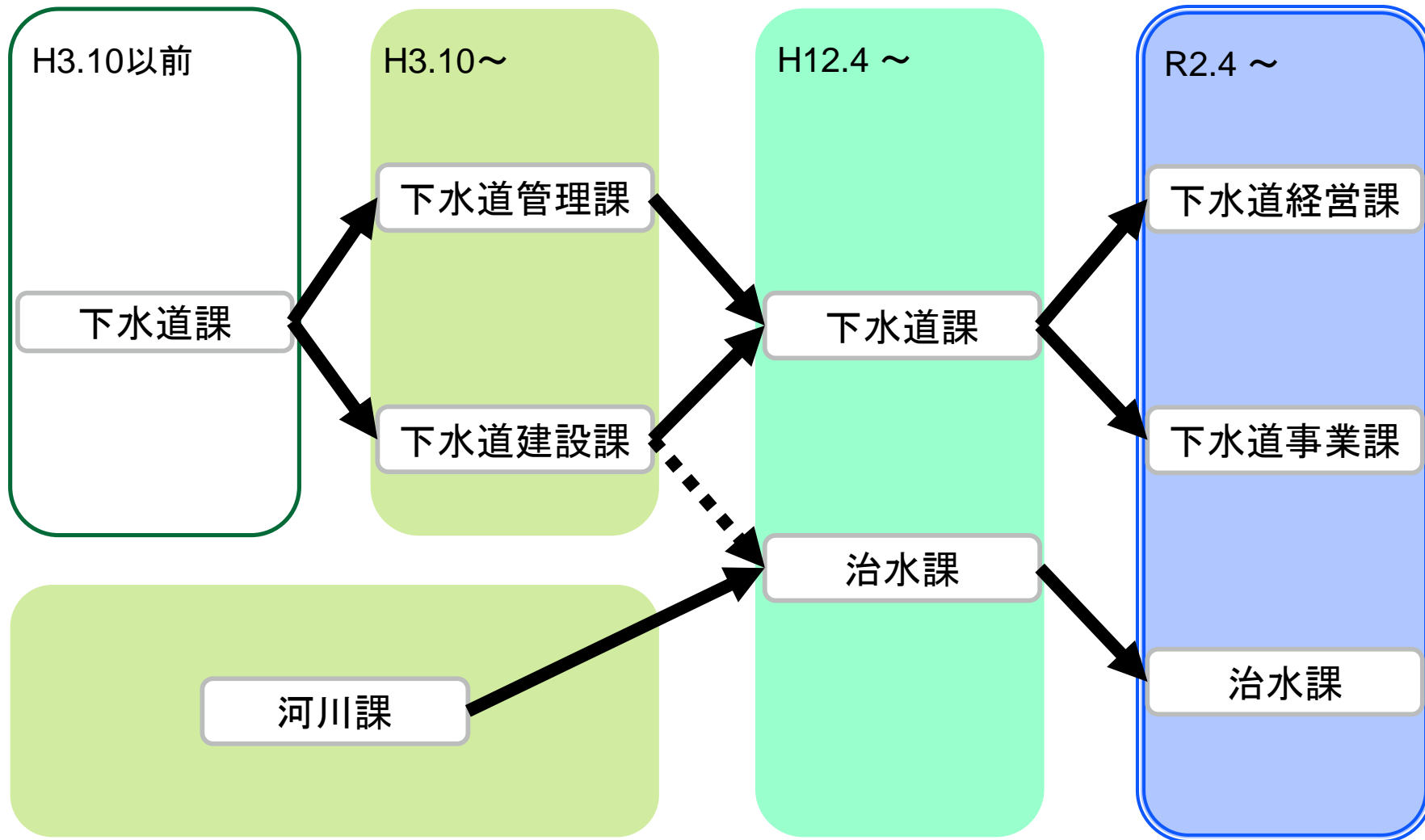
耐震診断 → 対策が必要なポンプ場の抽出

→ 耐震対策工事の実施 1億5千万円／年

合計：2億1千万円／年



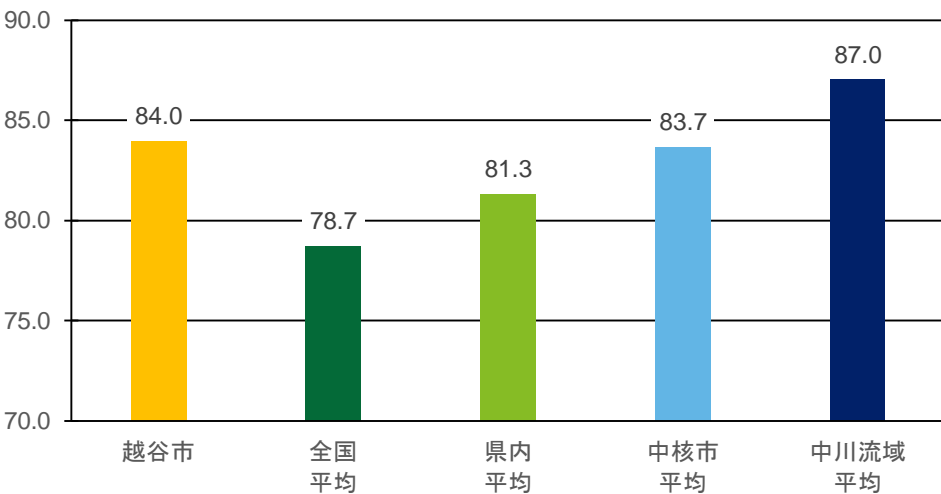
3. 組織の変遷



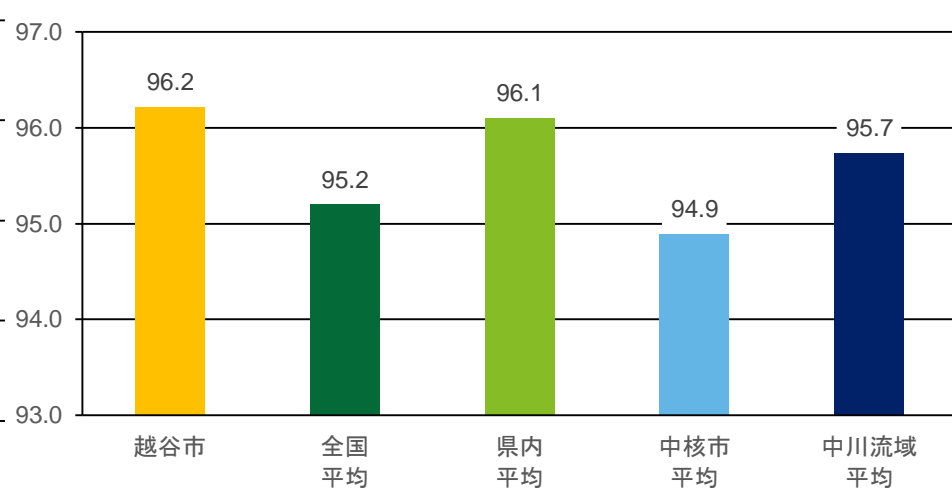


4. 下水道経営の現状分析① 【施設の状態】

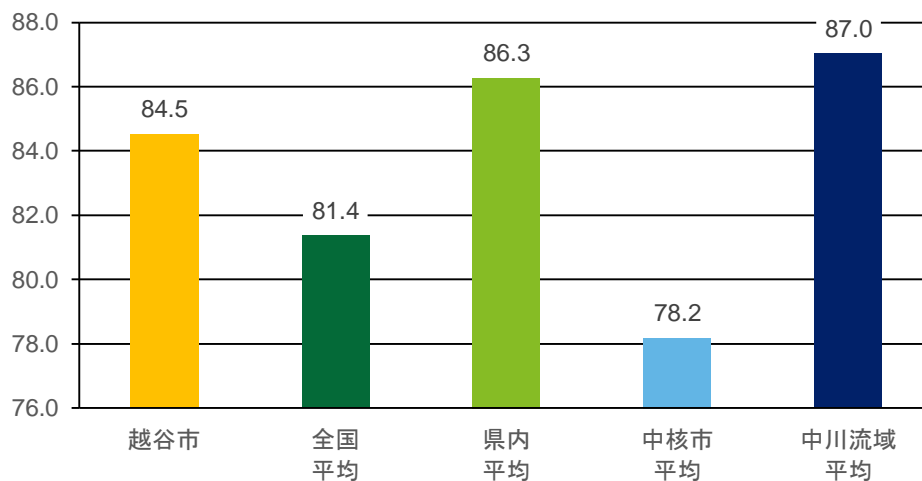
①下水道普及率(%)



②水洗化率(%)



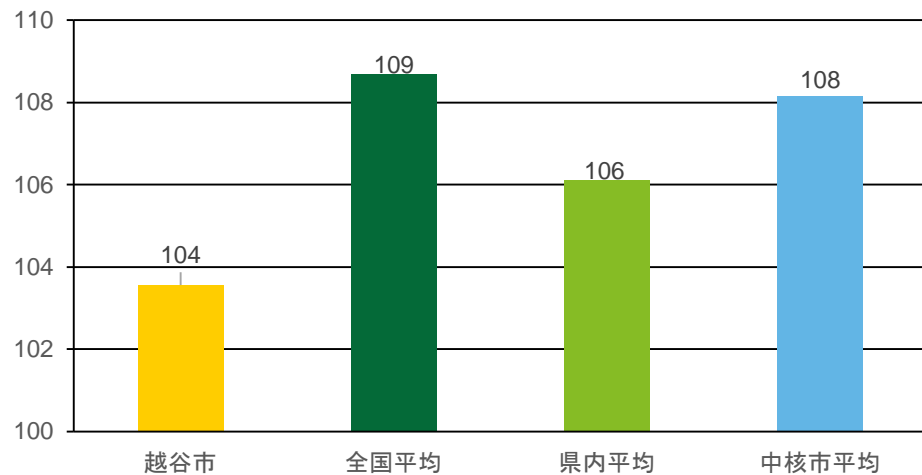
③有収率(%)



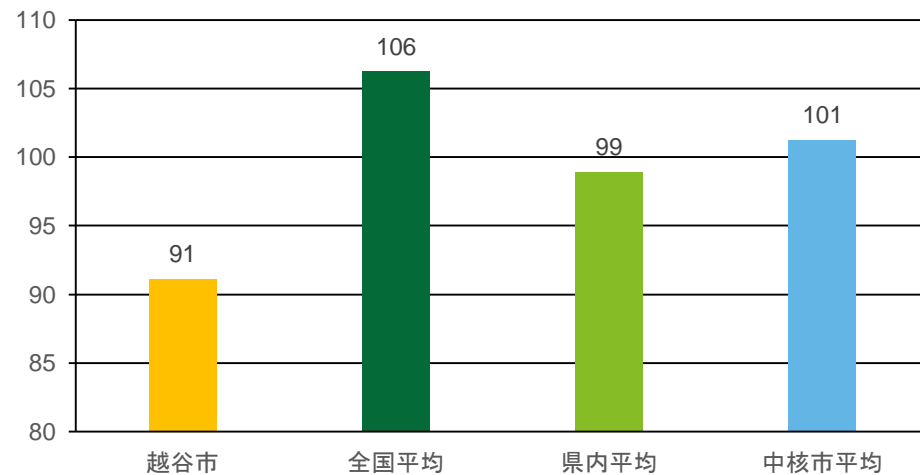


4. 下水道経営の現状分析②【収益性】

① 経常収支比率



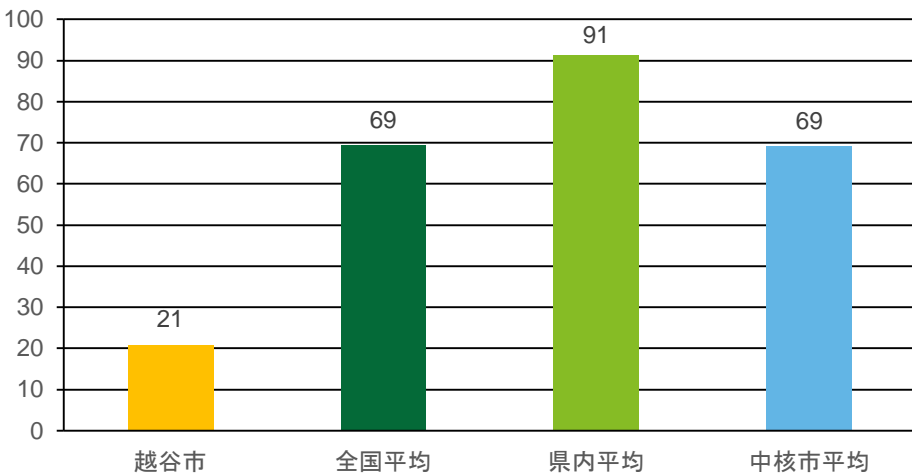
② 経費回収率



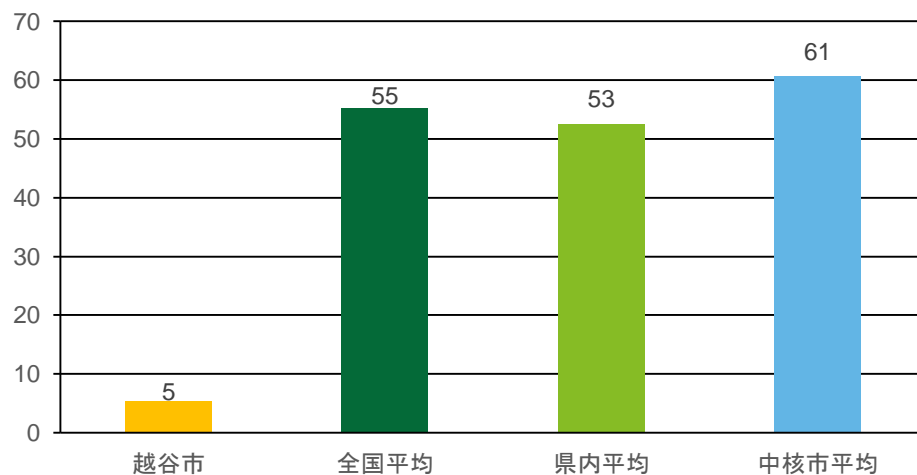


4. 下水道経営の現状分析③【資金】

①流動比率(%)



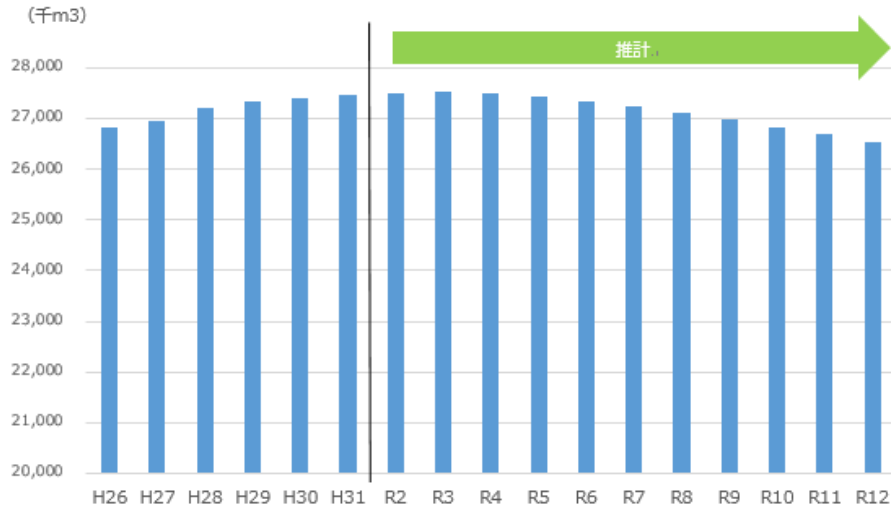
②営業収益対資金残高比率(%)



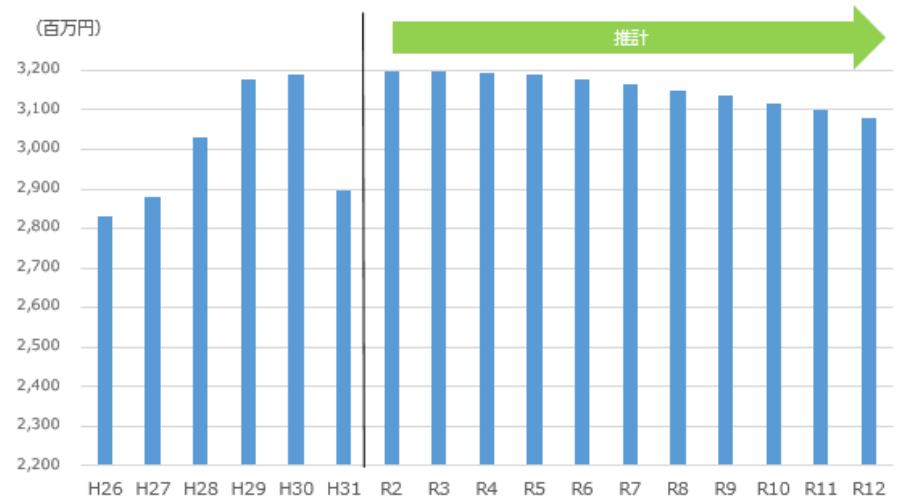


5. 将来の収支シミュレーション【収入】

● 有収水量の見通し

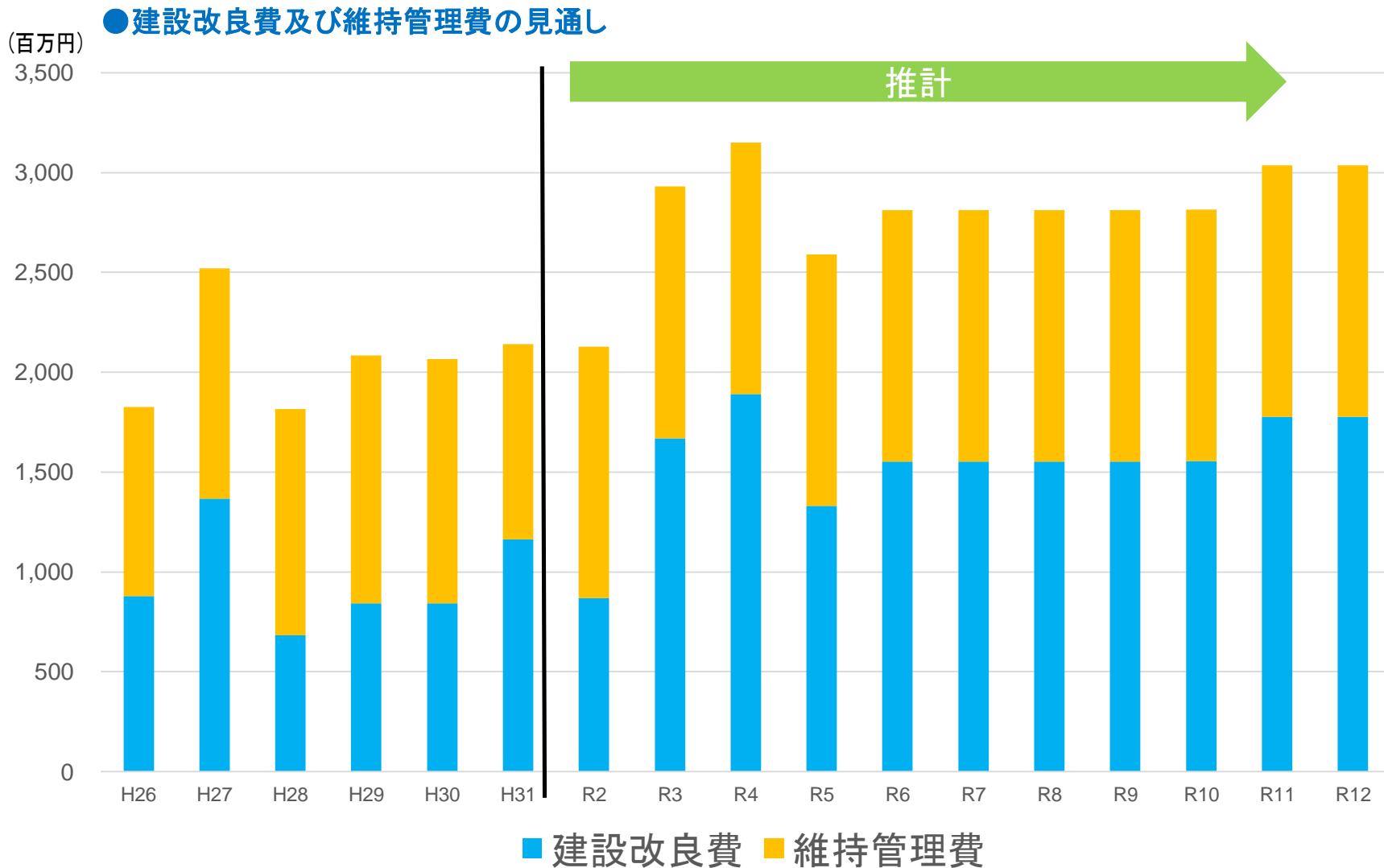


● 使用料収入の見通し





5. 将来の収支シミュレーション【建設費、維持管理費】

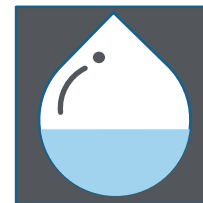




5. 将来の収支シミュレーション【財政投資】



シミュレーション数値については
別紙資料をご参照ください



■ シミュレーション前提条件

収益的収入

- └ 営業収益
 - └ 料金収入:年間有収水量(※1) × 使用料単価
- └ 営業収益・営業外収益
 - └ 一般会計からの繰入金

収益的支出

- └ 営業費用
 - └ 修繕費:老朽化率と比例するとして推計
 - └ 流域負担金:負担金算定水量 × 40円(税込)
 - └ 減価償却費:既存資産分(※2)
:新規投資分(※3)

資本的収入

- └ 企業債:将来発行予定の企業債(※4)
- └ 国庫補助金(※5)
- └ 一般会計からの繰入金

資本的支出

- └ 建設改良費:新規(更新)投資分(※6)
+ 建設負担金

※1.世帯数及び世帯数人員と比例するとして推計

※2.固定資産台帳に基づく

※3.資産種別耐用年数を基に減価償却費を計算。
なお投資額はストックマネジメント計画に基づく

※4.償還年数:管きよ、施設に伴う借入30年

電気機械に伴う借入10~15年など(法定耐用年数を基準)

※5.補助対象事業費の1/2で算定

※6.ストックマネジメント計画・総合地震対策計画に基づく



6. 収支ギャップ改善の取り組み

■ 収支改善に向けた今までの取り組み

支出削減

・長寿命化(更新投資減)

・起債借り換え(支払利息減)

・不明水対策(負担金支出減)

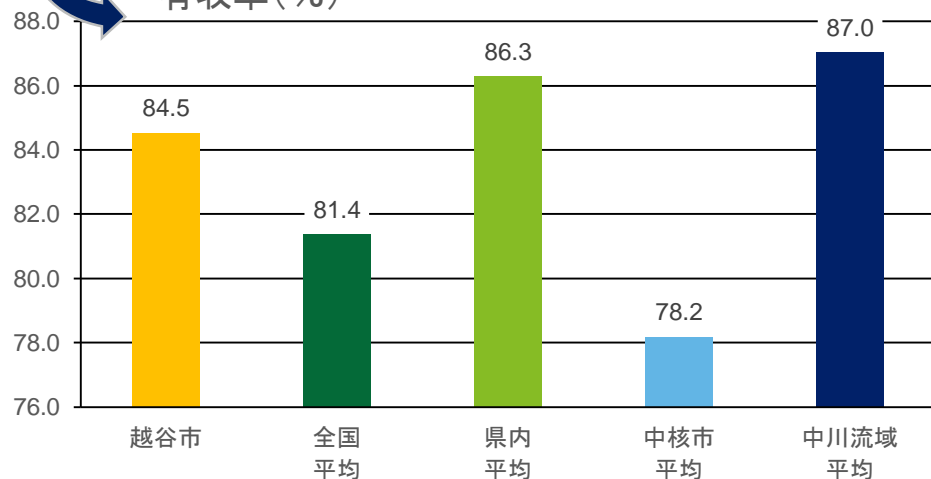
収入増加

・収納対策(料金収入増)

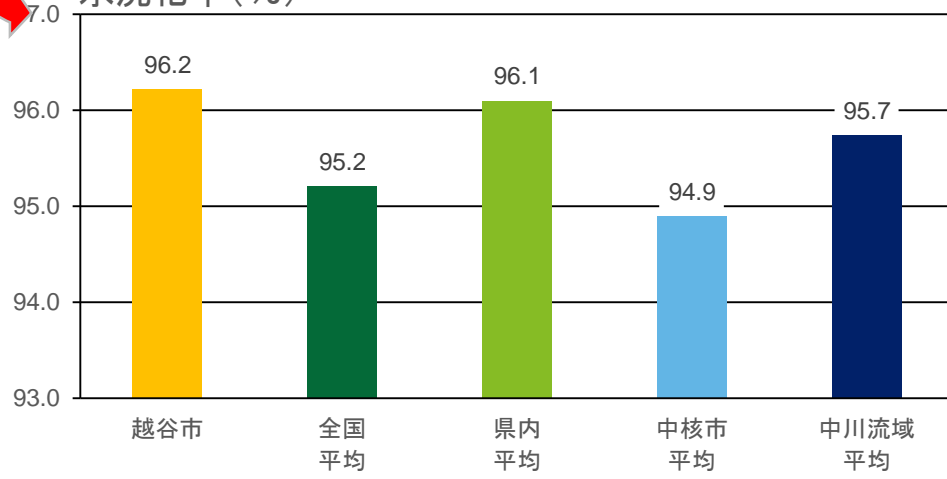
・未接続対策(料金収入増)

・料金改定(料金収入増)

有収率(%)



水洗化率(%)





7. 総括

【今までの取り組み】

- ・ 支出削減、収入増加に向けた取り組み

【新たな課題への対応】

- ・ 財務状況の改善（収益性、流動性）
- ・ 料金収入の減少
- ・ 建設改良費、維持管理費の増加



【今後の方針】

- ・ 従来の施策を継続することを前提とした**経営戦略の策定**を行い、収支ギャップを解消する**適正な料金改定**を検討する。



(参考) 下水道解説動画

» プライバシーポリシー » サイトマップ » アクセス » リンク集 » お問い合わせ

公益財団法人埼玉県下水道公社
Saitama Sewage Systems Agency

人・水・未来
をつなぐ下水道



日本一の流域下水道
施設を、熟練の技術
で支えています。

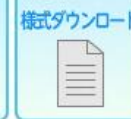
■ TOP ■ 会社のご案内 ■ 入札情報 ■ 施設見学 ■ イベント情報 ■ 相談窓口 ■ 採用情報 ■ 下水道サポーター



市民のみなさまへ



事業者のみなさまへ



修繕・工事成績評価結果

市町村担当のみなさまへ



お知らせ

» 2020/7/30
2020ミス日本「水の天使」中村真優さんが、下水道公社を来訪

INFORMATION



解説動画